

須木尊塾

H29.3.9(木)

まさに「三寒四温」の日々が続いていますが、インフルエンザが治まったと思ったら、今度は花粉病の時期がやってきました。まだまだマスクが欠かせず、皆様もお体に気を付けて。

二月が逃げるように去ってしまい、学校行事が遅くなって申し訳ありません。今回は、二月を中心に振り返り「みた」と思います。

立立式に感謝！！

二月十日(金)

ちょうど保護者の皆様が中学生の頃でした。うか……小林では立立式を行っていた学校がありました。そんな中、川学校で二分の一成人式を取り入れている学校が出てきたように覚えてます。

川学校という五年のあたりと中学二年生がちょうど心も身体も大きく成長する時期でもあるので、その時期を「節目」としてとらえて、全学校で行うようになっていったので、講師の橋本さんのパフォーマンスを生き方も加わり、会場は大盛り上がり、立立式となりました。当日、体調の悪い子も多かったのですが、全員そろってというわけにはいきませんでしたが、ハーサレでは休んだ子も思いを立派に発表できていたの、よかった、その、後援をしていただき、青少年育成会議須木支部の方々に心から感謝申し上げます。

須木小・中学校 合同立志式



体験や経験に感謝！！

二月二十四日(金)

「二月二十四日(金)」は「せせやう」があり、須木の地域振興課の方にお願としてボランティアをさせていただきました。行事に参加する意識をもたせるために、事前に学校に来ていただき、生徒会役員とお合意をさせていただきました。思春期、また年中の両年頃、本番はどうなることやらと心配していたのですが、少しずつ慣れてきたように、大まかな声を出すと笑顔も増えて、私も一緒に楽しめました。声を出すと笑顔も増えて、私も一緒に楽しめました。



まだまだ未熟者です。二、三から地域の行事のお手伝いをさせていただけるとありがたいです。参加された方々から「ありがとう」「元気かいねえ」「笑顔かいねえ」「おしかったよ」「おもてなしの大変さ楽しさがわかった体験になりました」。

その日の午後は、市の文化会館のはからで、ナントプロの演奏家「トリアンゴ」の方々が音楽室にいらして、生演奏を聴かせていただきました。私は午後から出張だったので、二十五日(土)の演奏を聴きにいきます。たが、まさに「クンゴ」の世界、クンゴって、人の失恋の曲がクンゴというのですよ。五十代、六十代向きの曲を、中学生にはわかりやすい曲を選んで音楽室で演奏していただきました。とてもありがたい機会でした。



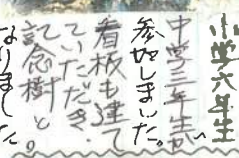
二十日(月)は、一、二年生向けに助産師の工原えりさんに来て、性教育に関する話を聞いていただきました。夕刻のお産にたあわれた経験から話されることは、命の大切さ、思いが伝わってきました。子もたちも、やがては大人になります。敬愛をもつて来ると、その時に、と勉強したことが理解できると信じています。

二十七(月)に、小林地区更



生保護女性会の方々が来校、三年生に午作りのしおりと卒業にあたって、生きていくための大切な話を聞いていただきました。これから様々な出会い、体験がまわります。いたいたし、おりに大切に道しるえとしていきます。

左の写真は、三月四日(土)に行われた「郷土の森植樹祭」の様子です。中、永々津中の生徒会が保もって市長をはじめ議員の方、区長、三枝サミットを行いました。小学六年生、中学三年生が参加しました。看板も建て、記念樹とりました。



詳しくは次回に